



HIGASHI OSAKA MIDORI R.C

CLUB WEEKLY

国際ロータリー第2660地区
東大阪みどりロータリークラブ

創 立 1998年9月24日
会 長 木 戸 章 由
幹 事 井 上 善 博
会報委員長 山 村 忠 弘

世界に希望を生み出そう

2023-7-06 (第1047・1048回)

今週のプログラム

≪7月06日(木)例会KKRホテル2階「琴」≫

◎「就任挨拶」

会 長 木戸章由君

幹 事 井上善博君

♪本日の歌 「君が代」「四つのテスト」

次回の予定

≪7月13日(木)例会KKRホテル2階「琴」≫

◎「就任挨拶」

各担当委員長

前回の出席率

≪6月15日(木)例会≫

会員数 19/7名 出席 7/1名 (53.8%)

*5月11日(木)例会修正出席率 78.6%

会員数 19/7名 例会出席者 9/2名/メークアップ 2名

≪6月17日(土)会長幹事慰労会≫

会員数 19/7名 出席 7/3名 (46.7%)

*5月25日(木)例会修正出席率 57.1%

会員数 19/7名 例会出席者 6/2名/メークアップ 2名

幹事報告

幹事 井上善博君

◎本日より新年度となります。本年度も引き続きどうぞ宜しくお願い致します。

◎例会場は、暫くこの2階「琴」となります。

◎例会後、定例理事会を行います。新理事メンバーの皆様宜しくお願い致します。

◎年会費の案内をさせて頂いております。お振込み宜しくお願い致します。

会長の時間 (6/15)

会長 田村嘉宏君

○ロータリークラブの米山奨学生の活躍

ネパールのダリット(不可触民)女性の地位向上を目指して

○カースト制度の影響を受けないICT産業

経済発展に伴って変化したものにカースト制度があります。カースト制度は、職業・結婚・食事などヒンドゥー教徒の生活全体を規制する社会制度であり、人は生まれながらにして職業と結びついた社会集団(ジャーティ)の一員として生きていくことが求められます。

しかし、ICT産業など従来の職業分類に当てはまらない新たな職業が生まれたことに加え、都市化が進んで人の移動が活発化したことで、自らの所属するカーストの習慣や生活スタイルを守ろうとする人々の意識は都市部を中心に希薄になっています。今やカースト制度はインド社会を決定づける中心的な役割を果たしてはいませんが、こうしたカースト制度の変化には、地域差が大きく、多くの農村地域では相変わらずカーストによる規制や風習が残っています。都市部でも、婚姻に関しては依然として重

例会場：KKRホテル大阪 Tel：06-6941-1122 例会日時：毎週木曜日 午後6時30分

事務所：〒631-0001 奈良市北登美ヶ丘3-11-30

Tel：0742-55-4869 Fax：0742-51-1067 E-mail midorirc1126@gmail.com



要な意味を持っているといわれています。他方、社会的経済的に不利な立場に置かれてきた低カーストに対して、入学や就職、選挙等における一定の優先枠を設ける優遇措置（留保制度）が整備されてきましたが、逆差別であるとして反対する声は根強く、カーストの存在が社会を分断する危険性をはらんでいます。

未来のウクライナのために

テチアナ・セゾネンコさん
(ウクライナ出身 2017-19/大阪城南RC)

大阪大学大学院理学研究科で高分子化学を研究し博士号を取得。帰国後は製剤化学者として農作物を守る薬剤を開発。戦争勃発後も国内にとどまり、国内外からの支援により食料や薬、子どものおむつなどの調達に奔走。現在はウクライナ教育財団で子どもたちを助けるためのボランティア活動をしている。



ダリット女性の地位向上を目指して

サビナ・ビスンケラムテルさん
(ネパール出身 2018-19/加古川中央RC)

カースト制度に属さない最下層のダリット（不可触民）出身。日本で学んだ経験やコロナ禍で村人に食糧を配るなどの活躍が評価され、ネパール最大政党から出馬要請。2022年5月のネパール統一地方選挙で当選を果たし、市議会議員としてダリット女性のさらなる地位向上を目指す。



インド経済のめざましい発展は、中間層と呼ばれる比較的裕福な階層を生んだ一方、1日1.9ドル以下で生活している貧困層が、約10%（1億4000万人）存在すると推計され（2017年）、識字率は74.4%（2018年）と依然として低いままです。経済発展により貧困率は低下しているものの、富の約80%を人口の約10%が所有しており、経済格差は以前にも増して拡大しています。

○ カーストによる差別は禁止されている
1947年、インドはイギリスからの独立を果たし、

1950年には憲法を制定します。憲法ではカーストに基づく差別の禁止と、不可触民制の廃止が規定されました。

バラモンは、カーストの頂点にあり、宗教的な権威を持つ支配者層です。知識人が多く、大学教授などもたくさんいます。クシャトリアは王族・貴族を指し、行政や司法を担ってきました。

ヴァイシャは、主に商業を生業（なりわい）とする市民階級で、身分は高くないものの高い経済力を持っています。シュードラは、農業や製造業などに従事する、一般的な労働者階級です。

また、シュードラの下には「ダリット」という身分があります。ダリットは、動物の加工や汚物処理などの仕事に就いていました。彼らは「不可触民」とも呼ばれる、他の身分の人が近付いてはならない存在であり、カーストには数えられません。

退任挨拶

2022-23年度会長 田村嘉宏君

本日はご多用中にも関わらず会長・幹事慰労会にご出席くださりましてありがとうございます。また、このような懇親の会を催していただき誠にありがとうございます。

振り返りますと一年は実に早いもので「光陰矢の如し」を実感しています。

今年度は重点的にフードドライブ・子ども食堂支援に取り組みました。その際には皆様に保存食の提供を受けたり、また、段ボール箱の提供、関係団体との連絡をしていただいたりしました。また、不足分をスーパーへ買い出しに行き、皆で子ども食堂へ届けたことも思い出の一つです。井上幹事ははじめ多くの皆様の協力があったこそなしたことです。

ロータリークラブの精神は親睦と奉仕といわれています。この活動を通じてワイワイと話しながらスーパーでカートを押したりして楽しく買い物をし、その食品を子ども食堂へ届け、奉仕できたことは私の人生にとりとても有意義でした。

このような貴重な体験を与えていただき、また、東大阪みどりロータリークラブの会長という重責を与えられたことは皆様に感謝しております。



また、一方で例会に必ず出席するために予定を調整したり、会長の時間は何を話そうかどうしようか数日前に考えたり資料作成したりする事でプレッシャーを感じたのも事実です。しかし今となっては良い思い出となりましたし自分の成長にもつながったと思います。

さらに東大阪中央 R.C と東大阪西 R.C の皆様と子ども食堂への共同支援事業を行い、東大阪市内の 13 箇所へ 1t 近くの新米を届けることもできました。これを契機に他のロータリークラブとの交流をはかり新年度では東輪会を含めると合同例会を 3 回実施する予定です。組織や人、時代は常に変わり対応していかざるを得ませんがロータリークラブの精神は永遠に引き継がれていくものと思います。

会長として会員増強や親睦と奉仕の面で十分な成果があったとは言い難いですが次年度会長の木戸章由会長エレクトにバトンを渡し、ご活躍を祈り退任のご挨拶とさせていただきます。

2022-23 年度幹事 井上善博君

皆さん、一年間有難うございました。幹事として田村会長の補佐とクラブ運営の方、精一杯やらせて頂きました！100%満足できる働きだったか？と聞かれると、即答できかねますが、自分なりに、また、クラブがおかれている状況を見ると、結構頑張ったのではないかと思います。

印象に残っている事は、主に三つあります。まず一つは、田村会長が就任する前に、増強を三人できなければ、東大阪みどり RC は解散や！と言われて、何とか皆さんの協力で、ギリギリ三人増強出来たことです。あれから一年経って、今やその新人会員の方々は既に貴重な戦力になっておられます。

二つ目は、会員皆さんが協力してできる新しい奉仕事業をやるうという事で、子供食堂さんへのフードドライブを実施できたことです。手探りながら、何回も打ち合わせ・勉強会を重ねた結果、三か所の子供食堂さんにとっても喜んで頂き、感動と充実感を皆で分かち合う事ができました！次年度以降もみどり RC の看板事業になっていきそうです。

三つ目は、姉妹提携をしている台中東海 RC の創立 25 周年記念式典と祝賀会に、会員・家族 5 名で参加できたことです。相変わらず盛大な祝宴と奉仕・

親睦事業のスケールの大きさに圧倒されましたが、コロナ禍の後、無事役目を果たせて胸をなでおろせた記憶が今でも鮮明に残っています。

他にも、色々苦勞したことや事務局の野原さんと頭を悩ませた事等、たくさんありますが、振り返ってみると、忙しかったけど、良い一年だったと思います。何の因果か、私は続く一年も木戸新会長のもとで幹事をやらせて頂く事になりますが、今年の実省を踏まえながら、新年度も皆さんが、明るく、楽しいロータリーライフを送れますように、奮闘努力をするつもりですので、また宜しくお願い申し上げます！ありがとうございました！

卓話抄録(6/15)

「日本とユダヤ難民を救った男・樋口季一郎」 田村嘉宏君

1 ナチスドイツに追われたユダヤ難民は、今日に至る世界の難民問題の走りであった。樋口季一郎は軍人の域を超えた外交官的素養の逸材であり、ユダヤ難民を独断専行で救出した通称「オトポール事件」など多くの難問の中に身をさらし、深謀苦慮の末の勇氣と決断をもって自己の信念とするヒューマニティを貫いた将軍である。その彼を支えた精神的バックボーンは、日蓮イズムと武士道精神であった。

「東洋のシンドラ」樋口季一郎陸軍中将の史実は知られることが少ない。杉原が救ったとされるユダヤ人の数 6000 人を優に上回る 2 万人のユダヤ人を樋口中将が救ったことは、ユダヤ人社会で記録に留められているほどだが、今、彼の功績を広く世界に伝えるべく、日本、イスラエル、米国で連携の輪が広がろうとしている。

その功績を顕彰する銅像を建立する募金計画が有志の間で進み、孫の樋口隆一明治学院大学名誉教授を会長理事とする一般社団法人「樋口季一郎中将顕彰会」が設立された。募金活動は日本のみならず、イスラエルや米国のユダヤ人社会にも呼びかけられ、銅像を通じて樋口中将の功績を世界に伝え、国際的な友好の輪を広げようとしている。



樋口中将は満州国ハルビン特務機関長だった 1938年3月、迫害を逃れ、ソ連を通過してソ連・満州国境オトポール（現ザバイカリスク）で立ち往生していたユダヤ人難民に食料や燃料を配給し、満州国の通過を認めさせた。リトアニアのカウナスで杉原千畝領事代理が命のビザを発給し、6000人のユダヤ人を救うのは、この2年後の40年のことである。ユダヤ民族に貢献した人を記した「ゴールデンブック」を永久保存するイスラエルの団体「ユダヤ民族基金」では、救出した総数は2万人としている。

2 スターリンの北海道領有の野望を打ち砕く

日独伊防共協定下に起きたオトポール事件に際し、ヒトラーの恫喝に対して自己の正当性を主張して動くことはなかった。キスカ島守備兵五一八三名の生命をアッツ島玉砕の二の舞にさせじと大本営に訴え、米軍艦船が取り囲むキスカ島から濃霧に乗じた救出作戦を奇跡的に成功させた。終戦から三日後の八月十八日、千島列島の最先端の占守島に奇襲上陸を企てた八千余のソ連軍を水際作戦で撃退してスターリンの北海道領有の野望を打ち砕いた。

また樋口中将は、北海道、南樺太と千島列島の「北の守り」を担当する札幌の第5方面軍司令官だった1945年8月、千島列島北端の占守島（しゅむしゅとう）に侵攻したソ連軍に対して自衛戦争を指揮した。それはポツダム宣言の受諾を決め、終戦の詔書が出された後の18日、大本営の停戦命令を無視して独断で行ったものだ。陸軍随一の対露情報士官としてソ連の野望を見抜いていたからにはほかならない。

札幌の北方軍（後の第5方面軍）司令官在任中の1948年、北太平洋のアッツ島の玉砕で将兵を失って苦汁をのんだ樋口は、キスカ島から約6千人の守備隊を撤退させることに成功。敵である米軍から「パーフェクトゲーム」と称賛された。20年の終戦後にソ連が千島列島北端の占守島に侵攻した際には自衛戦を指示し、スターリンの野望から北海道を守った。

これらの事件は、相手国との外交関係への配慮から伏せられてきたため、今日まで日本人の多くは知らないできた。ユダヤ難民について杉原千畝の「命のピザ」は世界中に知られるが、オトポール事件についてはナチスドイツからの厳しい抗議を受け、軍事機密扱いとして伏せられた。また占守島での撃退の指令を出した司令官だったため、北方四島問題を抱える戦後の政府筋はソ連政府への配慮から樋口季一郎の存在を抑制してきた事情があるとされる。

3 特筆すべきは、難民問題の起点ともいえるべきユダヤ難民問題に対してわが日本国は、人道的に取り組んだ唯一の国である。ユダヤ人に同情的であった英米さえも、ユダヤ難民九三〇人を乗せたセントルイス号を沿岸警備隊が射撃によって接岸を阻止し、ドイツに戻って大半が強制収容所送りとなっている。

わが国の難民救済の伝統は現代においても息づいており、国連難民高等弁務官の要職を日本人が担ってきていることに受け継がれている。

参考 『ユダヤ難民を救った男樋口季一郎・伝』

○彼の功績は、満州でのユダヤ難民の人道的処理、キスカ島からの守備隊救出、終戦間際のソビエト侵攻から北海道を守ったという3点である。

ニコニコ箱の報告

例会担当委員会

(6/15)合計 16,000円 2022-23年度累計 361,000円



本日のお祝い

会員交流委員会

◎会員のお誕生日 7月2日 杉森隆志君

奉仕を通じて増強に繋げよう

2023-24年度 東大阪みどりRCテーマ



世界に希望を生み出そう

世界に希望を生み出そう

2023-24年度 国際ロータリーテーマ

会長幹事慰労会

6/17(土)、おおさか料理「浅井」東迎にて田村会長・井上幹事慰労会を行いました。井上幹事には次年度も引き続き幹事をされます。田村会長・井上幹事一年間ご苦労様でした。



2022-23 年度アルバム



2023.1.11-13 台中東海 RC25 周年式典参加

奉仕を通じて増強に繋げよう

2023-24年度 東大阪みどりRCテーマ



世界に希望を生み出そう

2023-24年度 国際ロータリーテーマ

世界に希望を生み出そう



2022-23 年度 3名の新入会員



2022.12.18 クリスマス家族会 (KKR)



2023.3.14 東輪会ゴルフコンペ(奈良国際 GC)



2022.12.4 スイミーさんへクリスマスプレゼント

奉仕を通じて増強に繋げよう

2023-24年度 東大阪みどりRCテーマ



世界に希望を生み出そう

世界に希望を生み出そう

2023-24年度 国際ロータリーテーマ



2023.3.16 羅 婕今さん送別



2023.3.9 クラブ合同例会(オ・セリウ)



2023.3.30 花見例会・説法（玄清寺）



2023.5.12-13 フードドライブ（左：つながる食堂 右：ひょうたんこどもひろば）



奉仕を通じて増強に繋げよう

2023-24年度 東大阪みどりRCテーマ



世界に希望を生み出そう

世界に希望を生み出そう

2023-24年度 国際ロータリーテーマ